

◇ 「中信ビジネスフェア2010」 への出展による 栄養アセスメント・栄養相談

[はじめに]

毎年10月に京都中央信用金庫主催で地元企業、団体や大学、府、市等の研究機関による大商談会が開催されている。本年度はその第23回目に当たり、当施設としては4回目（栄養クリニック開設前の年度から広報活動として出展）の参加となる。今年は10月13日(水)・14日(木)に京都府総合見本市会館（パルスプラザ）展示会場で開催され、約200ブースを使用した異業種間での交流があり、大学関連の参加は約10校であった。見学来場者数は一般市民を含む約8,000人であった。栄養クリニックは1ブースを使用し、指導教員2名、指導員1名、クリニックスタッフ1名と学生ボランティア7名（食物栄養学科3・4回生）が参加した。

[参加目的と実施内容]

本ビジネスフェアの見学に来られた一般市民や企業の方々を対象に、栄養クリニックの開設目的やこれまでに実施したさまざまな活動事例をパネル媒体で紹介すると共に、今後予定されている事業紹介を行った。また、健康維持や生活習慣病予防の市民への積極的な啓発活動の一環として、骨密度測定、ヘモグロビン測定、握力測定などを無料で実施し、これらの栄養アセスメント体験から各自の健康への関心を深めていただいた。希望者



には、結果説明や身長と体重の自己申告から体格指数（BMI）や理想体重（IBW）を求め、各自の健康管理に有益な食事と運動についての情報を提示した。また、個人的な栄養相談にも応じた。

ボランティアとして参加する学生は、将来病院や社会福祉施設などの管理栄養士を目指す3、4回生であり、受付、測定の内容説明、測定実施と簡単な結果説明を担当した。来訪者と気持ちよく対応でき、満足していただけるような接し方を実践で学び、これらの体験から専門職業人としてのコミュニケーション力を養い、管理栄養士の資質向上に役立てることをねらいとして参加してもらった。

[成 果]

参加者は18歳から82歳までと幅広く、2日間で約200名を受け付けた。そのうち164名が詳細

な結果説明や栄養相談を受けられた。また、企業商談会のため、参加者の過半数が50～60歳代の男性であった。昨年度よりやや多い利用者であったが、これまでの経験からスムーズに対応することができた。問題がある方には、食事や運動を中心とした改善案を提示し、各自の生活の中で実施できる取り組みを選択していただくなどの支援を行った。多くの方から、「自分の骨量、栄養状態などを知ることができたので、来た甲斐があった」などの感想をいただき、熱心にメモを取られる方もあり、成果があったことを実感した。

栄養相談の内容は、メタボ対策、糖尿病、高コレステロール血症、高尿酸血症、心臓病、胃腸障害、リュウマチ、咀嚼問題、幼児の偏食などさまざまであった。リピーターが数名おられ、「今年も測定して、改善できたのかを相談したかった」という声も聞かれた。

昨年度は、十数社を超える様々な分野からの商談があったが、本年度は当クリニックの内容が周知されたためか、ビジネス上の相談は、数件に止まった。これからの管理栄養士は、アウトソーシングで実施される事業の中で活躍する場面も増えると思われる。自ら課題を設定し、企画・立案から実施、評価までできる力が益々必要になってくる。在学中に栄養クリニックの行事に積極的に参加し、その能力を培い、実践力のある管理栄養士の養成に役立つことを願う。

ボランティアとして参加した学生は、「アセスメント測定と参加者とのコミュニケーションを体験することができたのは大きな収穫であった」、「長時間でしんどかったがとてもやりがいがあり、終わってみると楽しかったので、また参加したい」との感想であった。当ブース利用者の比較的少ない時間に一人ずつ交代で、京都の代表的な企業のブースを見学し、「一堂で京都の企業を知ることができてよかった」、また、本年度は京都女子大学100周年記念の年でもあり、「京都女子大学の宣伝に加わることができて嬉しかった」との感想も聞かれ、長時間の活動にもかかわらず、積極的で好感が持てる対応ができていた。

(木戸詔子)

